

活動名称 (40字以内)	生命科学分野の研究領域の可視化ツール入門		
団体名等	大学院新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻バイオイノベーション政策分野		
活動区分	<input type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動		<input type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動	募集人数	2~3 人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input checked="" type="checkbox"/> 研究室体験活動			
活動方法	<input checked="" type="checkbox"/> オンラインを活用しつつ現地活動を行う <input type="checkbox"/> オンラインのみで活動を行う		
大学院学生	<input checked="" type="checkbox"/> 含む(大学院生は参加できるが、正規演習科目受講者として受講登録すること) <input type="checkbox"/> 含まない		
参加資格等	学部学生、ライフサイエンス系学部3,4年に限定 (大学院生は「医療イノベーション俯瞰演習」で受講登録可)		
活動期間	2023/11/29(水) ~ 2024/1/17(水) 7日間	主な活動予定場所	白金キャンパス 医科研2号館大講義室 & zoom
目的	生命科学の研究領域を文献データを用いて俯瞰する		
具体的な内容 (800字程度)	<p>研究分野を俯瞰基本的なトレーニングを実施する。まず、演習参加者には、Bibliometric Analysisの標準的なサンプル論文が50本程度例示されるので、その中から2~3本の論文を選び、精査すると同時にどのような内容なのかを報告してもらう。この過程を通じて、Bibliometric Analysisの一連の分析手続きを学ぶ。次に参加者自らが関心のあるテーマと研究上もしくは社会的な課題との関連性の俯瞰的に把握するため、</p> <p>①把握したい世界を200字から300字程度で表現し、主要なキーワードを抽出する。キーワード群は独立関係、階層関係から体系的に分類される。</p> <p>②キーワードの類義語・同義語・派生語を設定し、各キーワードのヒット数・複数ワード間の共通ヒット数から、キーワードの抱合関係を徹底的に調べた上で、AND/OR/~(/)が複雑に組み合わせられた検索式について試行錯誤しながら、キーワードの組合せにより文献データベースから何件の論文がヒットするかを実際にWeb of ScienceやPubMedを検索し、最終的に採用する検索式を決定する。同一概念に対する表記ゆれの吸収が十分に考慮され、3~4つ程度の概念の組合せ(A AND B AND C AND D)と偽ヒットの注意深い観察によるノイズフィルター(NOT X)の設定によりS/N比の高い検索式を開発する。目的にフィットした検索式はこれらの組合せを試行錯誤する中から生み出される。</p> <p>③最終的に解析対象として確定させた膨大な文献(数百件~数千件)の関係性を自動で解析するマッピングツールやテキストマイニングツールを用いて分析する。研究グループの共著関係による同定、引用関係による当該分野における主要な論文の同定、自らの研究領域や関心を持つテーマがどのように引用関係によって分類されるか、主要な論文の時系列的な流れを検討する。</p> <p>④①~③を経て、分類された各研究クラスターの引用件数の高い論文を代表論文として抽出し、自らが把握したい世界との距離感を精査する。</p> <p>⑤ギャップを解消するために、より最適な検索キーワードセットと検索式を再構築し、①~③のプロセスを再度実施して、自らが把握したかった世界とヒットする論文群がよりマッチした状態を実現する(第二サイクル)。</p> <p>研究内容をある程度理解できることが必須のため、生命科学系の学部(理学部、薬学部、農学部、工学部、教養学部等)に所属している生命科学分野に一定の知識があることを前提としており、3,4年に限定し参加する学部学生には、当研究室が担当する演習科目「医療イノベーション俯瞰演習」に参加することを認め、自ら関心のある研究分野について、データベースを用いた俯瞰作業を体験し、同時に最後にレポート作成を義務付ける。大学院生(社会科学系を含む)は演習科目に受講登録することで通常の授業科目として参加できる。</p> <p><日程> 原則 全日程参加すること。状況によるzoomによる参加も認める ○11月29日(水) 18:45-20:30(6限) 第1回 マッピングツール入門 ○12月6日(水) 18:45-20:30(6限) 第2回 特許情報の検索と調査 ○12月13日(水) 18:45-20:30(6限) 第3回 既存文献の分析結果発表 ○12月20日(水) 18:45-20:30(6限) 第4回 データソース設定とMapping空間の作成 ○12月27日(水) 18:45-20:30(6限) 第5回 キーワード再設定と母集団の再構築 ○1月10日(水) 18:45-20:30(6限) 第6回 結果の解釈と追加検証 ○1月17日(水) 18:45-20:30(6限) 第7回 発表 ※データベースを各自が検索し、データ収集・加工を行うため、学内ネットに接続可能なノートPCの持参必須。</p>		
備考	コロナウイルスの状況次第では、全てOnlineで実施する。また、希望者はOnlineのみでも参加できる。		
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)	その他 [*] 特記事項は以下に記載	
	交通費 実費 円 宿泊費 0 円 計 円	奨励金額 0円	
ウェブサイト等	本活動内容は、大学院の演習科目である。 http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/bioipcourse/learning/ensyu2.html 利用するマッピングツールの例: https://www.vosviewer.com/ https://www.citnetexplorer.nl/		